

障害のある人へのコミュニケーション支援セミナー 意思伝達補助ソフト「ハーティーラダー」の活用 ～重度障害者意思伝達装置の今！「残した自分の声を活用する」「視線で入力する」～

「ハーティーラダー」は、キーボードやマウスを使わずに文書入力や Windows 操作ができる意思伝達支援ソフトの一つです。

このソフトの開発者である吉村隆樹さんは、筋萎縮性側索硬化症(ALS)の方が欲しいと言われた、入力された文章を自分の声で発声させるマイボイスや、ハーティーラダーの画面を見つめるだけで操作可能な視線入力装置を利用するためのソフトなども開発しています。

今回は、ハーティーラダーの開発の経緯から障害のある人たちにとってのICTについてご自身のことも含めてお話しをして頂きます。

また、講演終了後に視線入力を参加者に体験してもらうことも計画しております。

- 主催 北九州市、北九州市障害者社会参加推進センター
共催 北九州市障害児者へのコミュニケーション支援・IT支援を考える会
(北九州コミットの会)
- 日時 平成27年 2月22日(日) 13:30~16:30(受付13:00~)
※視線入力体験は15:30から1時間予定
- 会場 北九州市ウェルとばた2階 多目的ホール(戸畑区汐井町1-6)
- 内容 ○講演(13:30~)
講師: パソボラこころのかけはし
よしむら たかき
吉村 隆樹 氏
○視線入力体験(15:30~)
- 参加費 無料
- 定員 定員100名(先着)
- 対象者 障害福祉関係者、コミットの会会員、
障害のある人のコミュニケーション支援に関心のある方
- 申込み 申込みは平成27年1月17日(土)から受付をします。
下記までお電話か、裏面に必要事項を記入してFAXして下さい。
- その他 定員を超えてお断りする場合があります。
詳細についてのお問合せは下記まで。



重度障害者意思伝達装置とは…

筋萎縮性側索硬化症(ALS)、頸髄損傷、脳性麻痺、筋ジストロフィーで発音・発語だけでなく、書字等の指先動作が困難な状態にある重度身体障害の方が活用するコミュニケーションエイドです。



北九州市障害者社会参加推進センター(戸畑区汐井町1-6 ウェルとばた6階)
電話 093-883-5554 FAX 093-883-5551 (担当 辻)

○講師プロフィール

吉村 隆樹 (よしむら たかき)

1965年、奈良県に生まれる。

1歳の時に脳性小児まひと診断される。

長崎県立諫早養護学校高等部を経て、仏教大学通信教育学部卒業。

独学でコンピュータプログラミングを習得し、2000年障害者向けパソコン操作支援ソフト「ハーティラーダー」を開発し、無料ソフトとして公開する。2011年「マイボイス」を開発する。現在、(株)ラボテックに勤務するかたわら、ソフトの開発にあたる。



マイボイスとは…

将来自分の声が失われると分かっている難病（特にALS）の患者さんの声をあらかじめ録音し、声が失われた後もパソコンを通して再生することを可能にするソフトです。



平成26年度

障害のある人へのコミュニケーション支援セミナー

参加申込み用紙

ふりがな 氏名	住所	連絡先	必要な情報保障 (○印をお願いします)
	〒		手話通訳・要約筆記 点字資料・拡大資料
	〒		手話通訳・要約筆記 点字資料・拡大資料
	〒		手話通訳・要約筆記 点字資料・拡大資料

○申込み先○

北九州市障害者社会参加推進センター

FAX 093-883-5551

